

コミュニティ・スクールは、一人一人の子どもが幸せな人生を歩んでいけるよう社会総がかりで子供を育む取り組みです。



禾一CS通信



Nb1

令和6年10月30日

都留市立禾生第一小学校

校長 渡邊 正司

保護者、地域の皆様には、かねてより、本校へのご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。



禾生第一小学校のコミュニティ・スクールが動き始めました！

コミュニティ・スクール(略してCS)をご存じですか？コミュニティ・スクールとは、学校・保護者・地域住民で構成する「学校運営協議会」を設置した学校のことで、「**地域とともにある学校づくり**」の実現に向け、学校目標やそれぞれの課題、地域資源等を共有し合い、学校・地域が一体となって、特色ある学校づくりや子供の学びや成長を支えていく仕組みです。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第47条の5)が平成16年の改正によって制度化され、令和5年5月時点で全国の小・中・義務教育学校の58.3%が導入に至っています。

なぜ、いま、「コミュニティ・スクール」なのか？

近年、学校や地域が抱えている課題は複雑かつ多岐にわたっており、学校だけ、地域だけで解決することが難しくなっています。そのため、学校と地域がともに課題を認識し、連携・協働を図りながら教育活動を展開していく必要があります。コミュニティ・スクールは、そうして、学校と地域で共通の目標や目的を持ち、未来を担う子供たちの豊かな成長を確保するとともに、社会総がかりでの教育の実現を目指すために活用すべきシステムです。

コミュニティ・スクールによる地域と学校の協働活動に、どんな良さがあるの？

設置校の地域の声を聞くと、「『最近の子供たちは』と否定的に思っていたが、『子供たち、そして先生たちって頑張っている』と思うようになった。」「次に何を話そうか勉強をするようになった。」など、学校や子供たち、協働活動に対し、共感の声が寄せられています。

学校と地域、相互の連携・協働のもとに、「**地域とともにある学校づくり**」と「**学校を核とした地域づくり**」を一体的に進めていくことで、**子どもを真ん中に置いた”信頼と愛着の輪(つながり)”**が醸成された未来を共創していける、それがCSの役割であり可能性です。

裏面もご覧ください



CS設置に向けた活動記録①

CS学習会

10月4日に、コミュニティ・スクール設置に向け、保護者や関係者を招いた学習会を開催しました。講師に山梨大学教育統括機構教育推進室の日永龍彦教授をお迎えし、「禾一小におけるコミュニティ・スクールの取り組み」についてご講演いただきました。地域と学校の連携や児童の成長を支えるコミュニティの重要性等を学ぶ機会となりました。会の終わりには、多くのご意見や質問が寄せられ、充実した学習会となりました。

ご意見・ご感想

- ・地域と学校との関わり方から目指すべき関係性というものがイメージできた。特に地域で育つ子を育成していくという観点から、地域の強みや課題などを理解した取り組みが大切だと感じた。
- ・今も子どもを通じて地域の方々のことを知ったり、歴史や地理的なことを知る機会をいただいています。知るほどにこの地域に対する親しみがわいてきます。自分の生まれ育った地域には親しみをを感じる機会が少なかったので、知ること、関わることの大切さを感じています。



CS設置に向けた活動記録② 第1回設置推進委員会

10月26日に、第1回学校運営協議会設置推進委員会を開催いたしました。禾生及び盛里地域の委員15名（欠席者除く）と学校教員とで集まり、開始前には授業参観、会では委嘱状交付や自己紹介等を行い、最後にはお一人お一人に、ご感想と「こんな子どもに育てほしい」という思いをうかがうことができました。次回12月からは熟議が始まります。学校や地域の実態に対し最適な協働の形を、みなさんでじっくりと模索していければと思います。

授業参観等のご感想

- ・スクールガードのおっちゃんと気が付くと、ニコツとした笑顔を見られた。楽しく授業をしていることを感じる事ができた。
- ・放課後子ども教室等で見知っている児童が手を振ってくれて嬉しかった。
- ・保護者の参観がとても多かった。地域・保護者と一緒になって学校づくりができる下地があると感じました。
- ・日頃スクールガードで見守りをしている子供たち、子ども教室に参加してくれている子供たちの学校での様子を見る事ができ、有意義な時間でした。地域の住民として学校に関わっていただけらと思いました。



「こんな子どもに育てほしい！」

- ・将来、この地域で育ったことを誇りに思える人に育てほしい。
- ・いろいろなことを吸収して育てほしい。
- ・室内遊びが多い昨今、外で日に焼けるようなスポーツ、遊び等で元気に育てほしい。
- ・自ら考え、自ら行動し、対立する意見に対して、対話を通してみんなが納得する意見を生み出すことのできる子どもに育てほしい。多様性を認める子ども、「私のままでいいんだ」と思える子どもに育てほしい。
- ・家族・地域に愛され、大人になったときにも、また地域を愛してくれるといいです。